

格闘 2001/4/23号

◆伊藤隆引退式◆

「長い間お疲れ様でした！」



「任せますー!」(伊藤)

「21世紀のキック界は任せて下さい」(魔装斗)

緒形健一 (シュートボクシング)
ちょうど5年前に対戦させて頂いたんですけど、本当に格闘人生をすべて賭けた試合で、格闘技者としてすごくいい勉強になりました。これからもよろしくお願いします。

大野崇 (正道会館)
伊藤さんとの試合は本当にいろいろ勉強させていただきました。機会があればこれからいろいろ教えて下さい。

港太郎 (山木ジム)
伊藤さん、引退おめでとうございます。無事引退できたのは本当に素晴らしいことだと思うんで、本当に一生懸命練習も試合もしてたんで、本当にお疲れ様でした。第2の人生もまた頑張ってください。

デビット伊東 (実兄)
これからは第2の人生です。それでもチャンピオンになるように頑張ってください。そしてこれから応援して下さい。

山木敏弘 (MAキック理事長)
第2の人生に、私も微力ではありますが、キック連盟ともども何かバックアップすることがありましたら、伊藤隆にできるだけの協力をさせて頂きたいという気持ちでいっぱいです。ひとつ皆様方も第2の人生にご声援よろしくお願いします。

★伊藤隆、本人の挨拶
本日はお集まり頂きまして、ありがとうございました。感謝します。本日、選手としては引退になりますが、同時に私としては始まりだと思っています。今後の10年を指導とキックのプランナー、また芸能活動を積極的にやっていきたいと思っています。そして、キックのおもしろさ、カッコよさ、芸術性等を広めたいと思っています。私は長い間皆さんに支えられて、強くなりました。本当にありがとうございます。今後はキックボクシングの伊藤隆に負けぬよう、新しい伊藤隆をつくりたい。本日3月30日伊藤隆は引退します。長い間応援ありがとうございました。



○63kg契約/ユンサヤム・ヤマキ(タイ) KO2R(1分58秒)五十嵐ヨシユキ(アクトイフ) 大ぶりが自立50歳。首相撲で圧倒的な強さを見せるユンサヤムは、2回に左ヒザを入れるとダメージを負った五十嵐を追い詰めKO。この安定感と勢いはしばらくは崩せそうにない。

酒井、井上、木村が大健闘 脇役たちの熱戦が

メインイベントを食った!



ODYSSEY-1
~伊藤隆引退記念試合~
マーシャルアーツ日本キックボクシング連盟
3月30日 後楽園ホール

「フリーの立場なので、試合をキャンセルすることは考えなかった…」と試合後に複雑な表情を見せて語ったのは、この日メインを張った小比類巻。急速前日に対戦相手が変わり、ロシアの無名マキシムを迎えたわけだが、1週間前に右拳を負傷していた小比類巻は終始、距離をとってのイーブンベース。判定勝ちしたとはいえ、「ゴヒラしさ」のない内容に観戦するものは言葉を失った。

前田憲作も「アクシオントがあっても、3回ぐらいいで倒さなければいけない相手。力づくでも倒して欲しかった」と手厳しい。1月のドーンン戦に続く不完全燃焼。ひとえに覇気や魂を感じられない小比類巻は、まだ21世紀をスタートさせられないでいる…。

しかし、そんな小比類巻の試合を忘れさせるほどの気を吐いたのが、まわりを彩った選手たちだった。

「そこが酒井の良いところ。負けん気も強いんです」とは士道館の高山会長。

この小比類巻とは対極をなす試合内容と、サムライルールまで視野に入れている酒井の存在は頼もしい。奇しくもこの日、引退セレモニーを行なった伊藤隆と入れ替わるように登場しインパクトを与えた酒井。中量級戦線における「MAの顔」になる日も近いかもしれない。(石塚)

「その目を引いたのは士道館のマグナム酒井。キャリアはまだ5戦ながら、180センチの長身から繰り出される素直で伸びやかなフアイトスタイルは将来を感じさせた。相手は初来日以來3連続KOと強打で波に乗る東金ジャガー。ヒジも得意なので不意な踏み込みは命取りとなるが、そこはインとアウトを巧みに使い分け、ガツチリした体格に似合わぬ繊細なフアイトスタイルでジャガーを逆に追い込む。

特に目を引いたのは士道館のマグナム酒井。キャリアはまだ5戦ながら、180センチの長身から繰り出される素直で伸びやかなフアイトスタイルは将来を感じさせた。相手は初来日以來3連続KOと強打で波に乗る東金ジャガー。ヒジも得意なので不意な踏み込みは命取りとなるが、そこはインとアウトを巧みに使い分け、ガツチリした体格に似合わぬ繊細なフアイトスタイルでジャガーを逆に追い込む。



○67kg契約/井上哲(山木)【判定3-0】巖流小次郎(東金) 先月、J-NETの西山誠人との王者決戦に勝利し波に乗る井上。序盤、リーチ差に苦しみ得意のヒジは出せなかったものの、終盤、カウンターのローが決まり始めベテランの味を見事に披露した。

○69kg契約/小比類巻貴之(チームドラゴン)【判定3-0】グルチキン(ロシア) 小比類巻は右拳の負傷から頼みの綱はローのみという状況。しかし、ムエタイスタイルのマキシムに距離をとられ、技を繋げることができず凡戦に。もう少し強引に欲しかった。

★その他5回戦の結果

- ▼日本フライ級タイトルマッチ 森岡卓司(王者・武勇会)【不戦勝】長瀬清(挑戦者・習志野) ※長瀬が病気で欠場、森岡が2度目の防衛を果たす
- ▼58kg契約 梅下勇輝(谷山)【判定3-0】きんぞ〜(新潟山木)
- ▼バンタム級 田中健一(山木)【判定3-0】高橋拓也(習志野)
- ▼59kg契約 山田健博(東金)【ドロー】東崎剛将(真樹)

○ライト級/グライカソフ(ロシア)【判定2-0】木村光(土浦)「まだ実力に差がある。いい勉強になりました」と木村。手数も多く、グライカソフを追い詰める場面もあった。後半は絶妙なタイミングの前蹴りとミドルで逃げられたが、次に繋がる敗戦だった。